

---

# ポケモンBW 新たな英雄の旅

ポケモンマニア

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ポケモンBW 新たな英雄の旅

### 【Nコード】

N5140Y

### 【作者名】

ポケモンマニア

### 【あらすじ】

カノコタウンに住む少年、トウヤ。気弱で優柔不断な性格だったこの少年が、旅を通じているんなものを学んでいく。ポケモンリーグを目指す旅、その道中で出会う謎の青年、そして暗躍する悪の組織。

チャンピオンを目指す旅が、今始まる。

## プロローグ（前書き）

文章力について散々注意されたのに懲りずに投稿してきましたよー  
注意されると逆にやりたくなってくるんです。

## プロローグ

心地よい潮風が吹き抜け、何かを予感させる田舎町、カノコタウンで、

一人の少年が旅立とうとしていた。  
その少年の名はトウヤ。

12歳の誕生日に、町でポケモンの研究をしている博士、アララギ博士から、プレゼントとしてポケモンが贈られてきたのだ。

トウヤは冒険に出ようという緊張感で胸がドキドキしていた。

プレゼントのポケモンが入ったモンスターボールは3つあった。  
ひとつが自分のぶん、あと二つは親友のベルとチェレンに渡すらしい。

家にはその二人もいて、三人で分け合うということになった。

三人はじゃんけんをして選ぶ順番を決めた。

結果、トウヤが一番、ベルが二番目、チェレンが三番目になった。

チェレンは頭こそいいのだが、つくづく運が悪い少年だった。

「どうしよう・・・これにしよう!」

カバンに入った三つ並んだモンスターボールの中から、トウヤは悩んだ末一番右のモンスターボールを選んだ。

水タイプのポケモン、ミジュマルが中に入っていた。

つぶらな瞳をしたかわいらしいポケモンだった。

三匹の中で一番かわいかったという理由で選んだ。

「あ！このポケモンかわいい！あたしこれにしよっ！」  
トウヤがミジユマルを選んだ直後にベルがポカブを取った。  
ポカブは「豚」に近い姿をしたポケモンで、ミジユマル同様かわいらしい姿をしているのだが、トウヤの好みではなかったらしい。  
ベルはなにもかもほぼ直感で決めるような性格の少女だったため、3秒足らずで即決した。

というわけで、チエレンは最後に残ったツタージャを取ることになったのだが、

「ふん。わかってないな。残り物には福があるって言うだろ、こういうときは一番最後に選ぶのが一番賢いのさ。僕は最後に選ぶためにわざとじゃんけんに負けたんだよ。」  
とんでもない負け惜しみを言った。

チエレンは理知的な性格をしていたが、非常に負けず嫌いな性格だった。ちょんまげのような変わった髪型も、「他の人と被りたくないから」という理由でこの髪型にしたらしい。

これから冒険のパートナーになるポケモンに対し「残り物」呼ばわりも相当酷いのだが、自分の運の悪さを「作戦だった」などというなんて、あまりにも小物臭くないか。

トウヤは思わずクスリと笑ったが、直後チエレンに睨まれた。

「そうだ。これからもらったポケモンでポケモン勝負をしないか」  
チエレンがいきなりトウヤに勝負を仕掛けた。

「え？家の中でバトルしたら危ないよ・・・」  
トウヤは断ろうとしたが、

「僕に負けるのが怖いのか？」  
チエレンに挑発され、しぶしぶ勝負を受けてたった。

## プロローグ（後書き）

はい始めりました。

相変わらず拙い文章ですが、前よりマシになったと思います。

## 第一話 初勝負！（前書き）

まあタイトルどおりですよ。

主人公の名前はバトルサブウェイのマルチトレインのパートナーからとりました。

セリフはかなり脚色しています。

チェレン、キャラ壊れすぎですね。すいません。

## 第一話 初勝負！

チエレンの挑発に渋々乗り、バトルをすることになったトウヤだが、

「やっぱり・・・やめない？」

断ろうとした。勿論、家の中でのバトルが危険すぎるからなのだが、トウヤは知っていた。小型のポケモンでも、鍛えれば山を崩せるほどのパワーを持つようになる、ということ。

しかしそれに対しチエレンは、

「君はまだそんなことを言うのか！あれか、家が壊されるからか！壊れても、また作ればいいだろう！」などと、意味不明な持論を展開した拳句、

「もういい！勝負しなかったら、君の家を僕のツタージャに壊させるからな！」

脅しまでかけてきた。どんだけ勝負したいんだよ・・・と呆れかけていたトウヤだったが、

「仕方ない・・・やるか・・・」  
なんとか承諾した。

といっても、バトルフィールドが自分の部屋だというのが、まだ納得がいかなかったのだが、チエレンに「断ったら家をぶっ壊す」などと脅しをかけられたのだ。やるしかない。

「バトル開始っ！！！」

ベルが勝手に審判をやり始め、なぜか持っていた笛を鳴らした。

「いけっ！ツタージャ！！！」



チェレンがモンスターボールのスイッチを押し、モンスターボールを投げた。

「タージャァァァ！」

勢いよく出てきたそのポケモンは、ツタージャというポケモンだった。

緑色のとかげのような姿をしており、冷静そうなその表情はチェレンに似合いそうな感じがした。

その後、

「いけっ！！ミジュマル！！」

トウヤもチェレンのまねをし、スイッチを押してから独特のフォームでモンスターボールを投げた。

「ミージュュ！！」

トウヤの投げたモンスターボールからミジュマルが出てきた。

ミジュマルは、おなかに貝のようなものを付けた白い顔をしたポケモンで、つぶらな瞳が特徴な、かわいらしいポケモンだった。

お互いのポケモンが出揃ったところで、審判ベルが宣言した。

「とりあえず先攻はじゃんけんで決めてね」

じゃんけんに弱いチェレンにとっては、非常に都合の悪い宣言である。

「いや、コイントスにしないか？」

勿論チェレンが異論を唱えた。

それで先攻後攻を決めるのは問題はないが、コインがそこにあるかどうか問題だった。

「それで・・・なにを使うの？」

トウヤが聞くと、チェレンはカバンの中に入っていた財布を取り出した。

「これでどうだ」

10円玉を使うと言い出した。しかし、これでは「やっぱりこっちが裏だった」とか言い出してややこしいことになる。トウヤが指摘したため、

「じゃんけんがいいよ……」  
渋々じゃんけんを認めた。勿論、トウヤが勝った。

ポケモンを出すのにも先攻を決めるのにもやたらと時間がかかってしまったのだが、勝負はできれば本気を出したいと思った二人だった。

「ミジュマル！たいあたりだ！！！」  
トウヤが精一杯の大声でミジュマルに指示を出した。

「ミジュ！！！」  
ツタージャに向かって体当たりを繰り返した。  
ミジュマルが勢いよく飛び出すと、チェレンもツタージャに体当たりを指示した。

「ミジュ！！！！」  
「タジャ〜ッ！！！」  
パワーに勝るミジュマルが打ち勝ち、ツタージャを跳ね飛ばした。

「くそっ……ツタージャ！もう一度体当たり！！」  
チェレンが舌打ち混じりに再び指示を出す。しかしそれに対し、  
「ミジュマル！！こっちも体当たり！！」  
再びパワーで打ち勝とうという作戦だった。  
しかし、

「甘いな……ツタージャ！よける！！」  
ツタージャがミジュマルの攻撃をよけ、自らの攻撃を命中させた。

「ミジュ〜」

跳ね飛ばされ、仰向けになりミジュマルが倒れた。しかし・

「もついちど、体当たり!!」

「ミジュ!!」

ミジュマルがツタージャの不意を突き、ツタージャを倒した。

「ちっ・・・負けたか・・・」

チエレンが舌打ちし、勝負が終わった。

「すごい部屋荒れちゃったな・・・」

トウヤがポケモンの攻撃でむちゃくちゃになった自分の部屋を見て、思わずつぶやいた。

その独り言を聞いていたのか、

「部屋を荒らしたことは、君のお母さんに謝っておくよ。でも・・・次勝負するときは絶対負けないからな!!!!!!」

チエレンが捨て台詞を吐き、部屋を出て行った。その直後、

「じゃあ、あたしも帰るねっ」

続けてベルも部屋を出た、

その後、トウヤは荒れた自分の部屋を見回しながら、

思わず10分ほど寝てしまった。

第一話 初勝負！（後書き）

ベルとの勝負がカットされてるって!？

僕のミスでした。

それと戦闘があっさりしすぎですが、

僕戦闘引き伸ばすの苦手なんです・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5140y/>

---

ポケモンBW 新たな英雄の旅

2011年11月20日19時30分発行